

平成30年4月から

特別支援教育の環境が充実しました



すべての小学校で『特別支援教室キラリ』がスタート!

「集中が長く続かない」、「こだわりや不安が強い」、「友だちの気持ちを汲むのが苦手」など、情緒面の発達やコミュニケーションに課題のある児童の増加に対応するため、立川市では平成28年度から、東京都のガイドラインに沿い、特別支援教室を順次導入してきました。3年目を迎えた本年4月、すべての小学校に整備が完了し、在籍している校内で子どもの特性に応じた適切な指導が受けられるようになりました。

5月1日現在、利用児童数は272人。5年前と比較して2.3倍に上っており、利用のしやすさが進んできたことがわかります。利用のご希望やご心配な点がある場合は、まずは担任の先生にご相談ください。なお、指導の開始にあたっては一定の審査があります。

松中小学校に特別支援学級『まつのみ学級』が開級

教育環境を充実するため、第九小学校くわのみ学級の広い通学区域を分割し、新たに松中小学校に『まつのみ学級』を開級しました。

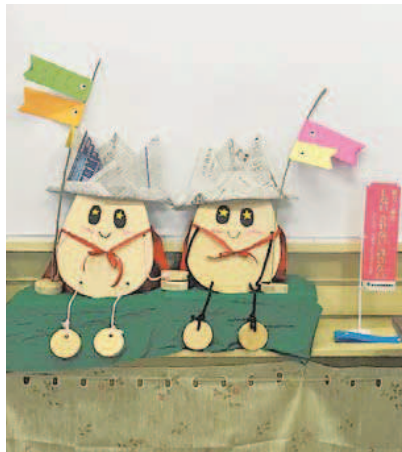
開級に向けた施設改修では、空調機や間仕切りの設置、照明の増設、シャワー室の補修等を行い、より快適で機能的な教室環境が整いました。また、ハード面の準備に先駆けて校内で始動したのが、「まつのみ学級ウェルカムキャンペーン」。学校だよりでの発信をはじめ、児童によるマスコットキャラクターのデザインや命名、立川市手をつなぐ親の会が主催するキャラバン隊「ひこうき雲」を招いての授業など、さまざまな取組が展開されました。4月20日には、開級式に引き続いて全校集会在催され、児童会が中心となって企画や進行にあたり、笑顔と歓声があふれる歓迎会となりました。教室のうち1室は「まつみんルーム」と名付け、プレイルーム兼交流および共同学習の場として活用していきます。

今後は、都立特別支援学校からの巡回指導等も受けながら、教員のさらなる専門性向上と学級運営の安定化に取り組めます。

特別支援学級の見学や体験は随時受付しています。教育支援課までお気軽にご相談ください。



ロッカーの構造や教室内の掲示物にも、学習



マスコットキャラクター「まつみん」。校内のあちこちで、交流に一役買っています。

『きこえとことばの教室』が第八小学校に移転

けやき台小学校の閉校に伴い、難聴・言語障害通級指導学級『きこえとことばの教室』が、第八小学校(幸町2丁目1-1)へ移転しました。

平成28年度に大規模改修を行い、北校舎へ通級機能を集約し、1・2階が「きこえとことばの教室」、3階が「特別支援教室キラリ」の教室になりました。また、専門的な指導に対応できるよう、グループ指導室や個別指導室、プレイルーム、検査室などをリニューアルしました。



通級棟(北校舎)の入口。あたたかみのあ



児童の観察にも対応できる個別指導室



さまざまな遊具や体育用具をそろえたプ



集中しやすい間取りになった聴力検査室

平成31年4月の導入に向け 中学校の特別支援教室を準備中です

立川市では、市立中学校9校中3校に情緒障害等通級指導学級を設置していますが、小学校に続いて中学校においても、平成31年度から特別支援教室を順次導入します。東京都のガイドラインに沿い、平成33年(2021年)4月の全校設置を目指しています。

初年度となる平成31年度は、泉学級が設置されている立川第六中学校を拠点に、立川第九中学校へ教員が出向いて巡回指導を行うことを予定しています。将来的に拠点校をどこに設置するのか、教科の指導や進路相談にどう対応していくか等の課題について検討し、必要な環境整備を行いながら、円滑な開始に向けて準備を進めます。

これまでは、通級設置校までの距離の遠さや、授業を抜ける時間が長くなってしまふ点が大きな課題でしたが、特別支援教室の開始によって利用がしやすくなり、より多くの生徒が、必要な指導・支援につながることを期待されます。導入の年次計画等の詳細は、今後お知らせします。



立川六中・泉学級の指導の様子

すべての保護者・地域の皆さまの、
障害に対するご理解・ご協力をお願いします。

お子さん一人ひとりの、学習面や生活面の困難さを改善するためには、お子さん自身が安心して楽しく学ぶことができるよう、保護者・地域の皆さまのご理解が欠かせません。特別支援教室の全小学校スタートを契機に、ぜひ障害に対するご理解を深めていただき、あたたかい見守りとご協力をお願いいたします。

立川市教育委員会 教育支援課 ☎042(527)6171

受付時間：月～金曜(祝日を除く)9時～17時
立川市錦町3-2-26 子ども未来センター1階